

ICT 教材・機器 活用事例

学部	小学部	学年・グループ	5年	教科	国語算数
授業名(単元名)	図形・測定				

①ICT を活用した個別最適な学び

活用場面	活用方法	子どもの様子(成果・課題等)
○算数	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ「まなぶんです」(OMLET)を活用。 ・アプリ「計測」 	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad の操作は自宅でも使い慣れており、得意。 ・発語による意思表示が少ないため、友だちや教員とのやりとりの中で iPad を活用して自分の意思を表出する経験を積み重ねる中で、自発的な表出をねらいたい。

②実践を振り返って

【工夫した点】

・アプリ「まなぶんです」やアプリ「計測」を使って、教室内の具体物を写真に撮り、学習集団内で発表する活動に取り組んだ。

【活用の成果】

- ・アプリの使い方をすぐに覚えて、自分から具体物の写真を撮ることができた。撮った写真の画面を見せながら、友だちに「時計→高い ブロック→低い」と発表することができた。
- ・自分で具体物の計測をして、「〇〇センチ」と発表することができた。
- ・どの場面も初めは自分から行動や発表することに難しさはあったが、続けて取り組む中で要領を得て、その後は自分からアプリを活用して学ぶようになり、学習を通して表出やコミュニケーションの力が高まる機会となった。

【今後に向けた課題】

本人の特徴として、普段の学校生活においては、自身の独り言での発言や特に困った場面や拒否する場面では「できない!」「NO!」と発信する様子はみられるが、それ以外での発信は教員側からのやりとりがなければ基本的には自発的にはみられないような実態である。内言語は大変豊かだが、自分の思いや考えを言語化することはその必要性や場面によって難しいように感じる。今回 iPad のアプリを学習場面で活用することによって、学習の一環や自発的な発語につながる場面を引き出すことができた。今後の課題としては、本人は認識力も高く、iPad を操作する力やイラストを描く力も高いため、本人の得意な力や興味のある事柄と関連させて、内言語を言語化して表出したくなるような友だちや教員との関わる場面や学習場面を設定して促していきたい。

